

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 桑山  
 コード番号 7889 URL <http://www.kuwayama.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

(氏名) 相原信雄  
 (氏名) 沼田直樹

TEL 03-3835-7231

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	17,951	△6.3	△998	—	△1,107	—	△1,711	—
20年3月期第3四半期	19,166	△12.1	236	△71.9	182	△78.4	△302	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△171.62	—
20年3月期第3四半期	△30.37	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	27,912	—	11,730	—	42.0	1,176.44	—	1,176.44
20年3月期	29,038	—	13,811	—	47.6	1,385.24	—	1,385.24

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 11,729百万円 20年3月期 13,811百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
21年3月期	—	9.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,700	△10.9	△1,210	—	△1,320	—	△2,200	—	△220.65

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、2～3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	10,331,546株	20年3月期	10,331,546株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	361,075株	20年3月期	361,004株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	9,970,487株	20年3月期第3四半期	9,970,559株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、たぶん不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想と異なる場合があります。なお、業績予想については、平成21年2月9日発表の業績予想の修正に関するお知らせにより修正しております。業績予想に関する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、リーマンショックに端を発した金融危機による世界的な景気減速が国内経済にも波及し、企業収益の急速な減少から雇用の悪化、個人消費の更なる減退を招き、景気は急速に後退致しました。宝飾業界におきましても貴金属地金相場下落が、地金素材型商材の需要を刺激したものの、年間最大需要期であるクリスマス商戦は、急速に高まる社会の先行き不安から過去にない冷え込みに終わり、また百貨店宝飾部門や展示会催事販売での高額品消費も低迷から脱せず、大変厳しい状況が続いております。

こうした状況から当社の業績につきましては、連結売上高は65億85百万円（前年同期比：3.9%減）となり、利益につきましては海外子会社での製造が軌道にのり利益創出に貢献したものの国内営業は苦戦し、また貴金属地金相場大幅下落から第3四半期期間中の営業活動において約5億5百万円の地金簿価とのかい離による差損を生じ、さらに期末棚卸資産の評価損を5億31百万円計上した結果、営業損失は8億79百万円（前年同期比：11億13百万円減）、経常損失は9億44百万円（前年同期比：11億40百万円減）となり、四半期純損失14億24百万円（前年同期比：15億87百万円減）となりました。

\*前年同期比は参考数値として記載しております。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億26百万円減少し279億12百万円となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の減少、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ9億55百万円増加し161億82百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ20億81百万円減少し117億30百万円となりました。主な要因は四半期純損失によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期までの業績、年度末の動向、また、今後も厳しい経営環境が予想され、貴金属地金価格の回復が年度末までに期待できないことを踏まえ、平成20年11月11日の「業績予想の修正に関するお知らせ」を修正しております。

詳細は平成21年2月9日発表「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、製品・原材料・仕掛品を主として移動平均法による低価法、商品を主として個別法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、製品・原材料・仕掛品を主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)、商品を主として個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、営業損失及び経常損失が5億24百万円増加し、税金等調整前四半期純損失が5億65百万円増加しております。

## 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。これによる、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

重要な減価償却資産の減価償却の方法

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正による法定耐用年数の変更に伴い、耐用年数を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,671,539	1,706,575
受取手形及び売掛金(純額)	3,318,951	4,726,764
商品及び製品	7,820,362	7,620,464
仕掛品	2,840,815	2,702,372
原材料及び貯蔵品	877,895	1,018,888
繰延税金資産	25,466	169,017
その他	329,750	539,177
流動資産合計	17,884,783	18,483,259
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,064,003	5,082,586
その他(純額)	1,999,301	2,242,356
有形固定資産合計	7,063,304	7,324,943
無形固定資産		
のれん	173,055	37,043
その他	950,794	964,613
無形固定資産合計	1,123,850	1,001,656
投資その他の資産	1,840,680	2,228,967
固定資産合計	10,027,835	10,555,567
資産合計	27,912,618	29,038,827
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	989,194	1,472,431
短期借入金	10,445,911	8,530,000
未払法人税等	13,789	41,677
賞与引当金	52,500	130,000
その他	1,592,904	1,856,467
流動負債合計	13,094,298	12,030,576
固定負債		
社債	800,000	950,000
長期借入金	1,830,759	1,852,635
繰延税金負債	74,692	22,433
役員退職慰労引当金	379,375	368,148
その他	3,334	3,364
固定負債合計	3,088,160	3,196,580
負債合計	16,182,459	15,227,157

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,013,529	3,013,529
資本剰余金	2,944,369	2,944,369
利益剰余金	5,677,046	7,557,958
自己株式	△205,538	△205,504
株主資本合計	11,429,406	13,310,353
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	120,167	162,029
繰延ヘッジ損益	613	△1,007
為替換算調整勘定	179,495	340,295
評価・換算差額等合計	300,275	501,316
少数株主持分	476	—
純資産合計	11,730,158	13,811,669
負債純資産合計	27,912,618	29,038,827

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	17,951,633
売上原価	15,001,696
売上総利益	2,949,937
販売費及び一般管理費	3,948,512
営業損失(△)	△998,575
営業外収益	
受取利息	8,576
受取配当金	24,197
不動産賃貸料	22,768
その他	58,086
営業外収益合計	113,627
営業外費用	
支払利息	142,573
為替差損	52,388
その他	27,238
営業外費用合計	222,200
経常損失(△)	△1,107,148
特別利益	
固定資産売却益	17,370
貸倒引当金戻入額	2,932
その他	14
特別利益合計	20,318
特別損失	
投資有価証券評価損	204,211
たな卸資産評価損	41,126
不正損失	65,084
その他	451
特別損失合計	310,874
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,397,704
法人税、住民税及び事業税	15,814
法人税等調整額	297,849
法人税等合計	313,663
少数株主損失(△)	△206
四半期純損失(△)	△1,711,161

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		百分比 (%)
	金額(千円)		
I 売上高		19,166,714	100.0
II 売上原価		15,908,422	83.0
売上総利益		3,258,292	17.0
III 販売費及び一般管理費		3,022,018	15.8
営業利益		236,273	1.2
IV 営業外収益			
受取利息及び配当金	33,858		
その他営業外収益	96,757	130,616	0.7
V 営業外費用			
支払利息	136,966		
その他営業外費用	47,284	184,250	1.0
経常利益		182,639	0.9
VI 特別利益			
固定資産売却益	465		
会員権売却益	476		
投資有価証券売却益	46,500		
貸倒引当金戻入益	6,752	54,194	0.3
VII 特別損失			
固定資産除却損	4,456		
過年度役員退職 慰労引当金繰入額 税金等調整前 四半期純損失(△)	346,350	350,806	1.8
法人税、住民税及び 事業税	17,134		
法人税等調整額	171,657	188,792	1.0
四半期純損失(△)		△302,764	△1.6